

こんな時にご相談ください

名前を呼んでも振りかえることが少なく、マイペース。
音への反応はある。

大人の言っていることがほとんど理解できていないようだ。

など・・・

3歳児健診前のお子さんは**市保健センター**へご相談ください
(76-1133)

3歳児健診後のお子さんは**あんステップ**へご相談ください
(77-7796)

<参考資料> 発達障害情報・支援センター

「1歳半～2歳半の子どもを持つ保護者の方へ 声かけのコツ」

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童思春期精神研究部

このチラシについてのお問い合わせは…

安城市子ども発達支援センター あんステップ

開館 月～土（祝日除く） 8：30～17：15
〒446-0043 安城市城南町2丁目10番地3
電話：0566-77-7796
FAX：0566-77-7785

声かけのコツ 1歳半頃～

<～あんステップさんに聞いてみよう～>

例えば…



うちの子、言葉がゆっくりだから、「たくさん声かけして」って言われたけど、具体的にどうやったらいいの？

話しかけているけど、いまいち、反応がないかも

安城市子ども発達支援センター
あんステップでは、子どもの発達の相談に応じています。

子どもの発達には個人差があります。温かく見守りながら、次ページを参考にしてくださいね。



あんステップさん

1 子どもの注意をしっかりと引いてから声をかけましょう



- ①子どもの視界に入る。
- ②しゃがむ、抱っこするなどして、目線を合わせる。
- ③体に触れたり、手を持つなど、子どもの注意を親の方に向ける。

2 目に見える手がかりを使ってみましょう

① 実物や写真



例 上着を見せて「外行くよ」
「これを着たら外へ行ける」という見通しがつく。

例 公園の写真（携帯で撮影）を見せて「公園行くよ」
ここは「こうえん」という名前だと分かりやすい。

② 身振り手振り

例 「手あらうよ」と言いながら、手をこする
身振りをする。



例 「ごみ捨てて」と言いながら、ごみ箱を指す。
ここに捨てると分かる。動きを見て、動作とその言葉が
つながりやすい。

3 言葉を選んで声かけしてみよう



① ポジティブな表現で

例 「走り回らない」 → 「椅子に座るよ」
「歩くよ」
「お茶をこぼさないで」 → 「コップをぎゅっと持つよ」
「お茶を見て飲むよ」

どんな行動をすればいいか具体的に分かりやすい。
叱られた感じにならない。

② 具体的に

例 「きちんと片づけてね」 → 「おもちゃはこの箱に入れてね」
「そこに座って」 → 「この椅子に座って」



あいまいな表現では理解しにくい時がある。

③ 短く伝える

例 「急いでいるから、早くくつはいて」
→ 「くつはくよ」
「手を洗ってからおやつを食べるよ」
→ 「手洗おう」「おやつ食べるよ」

長い文章だと、今何をするか分からない時がある。